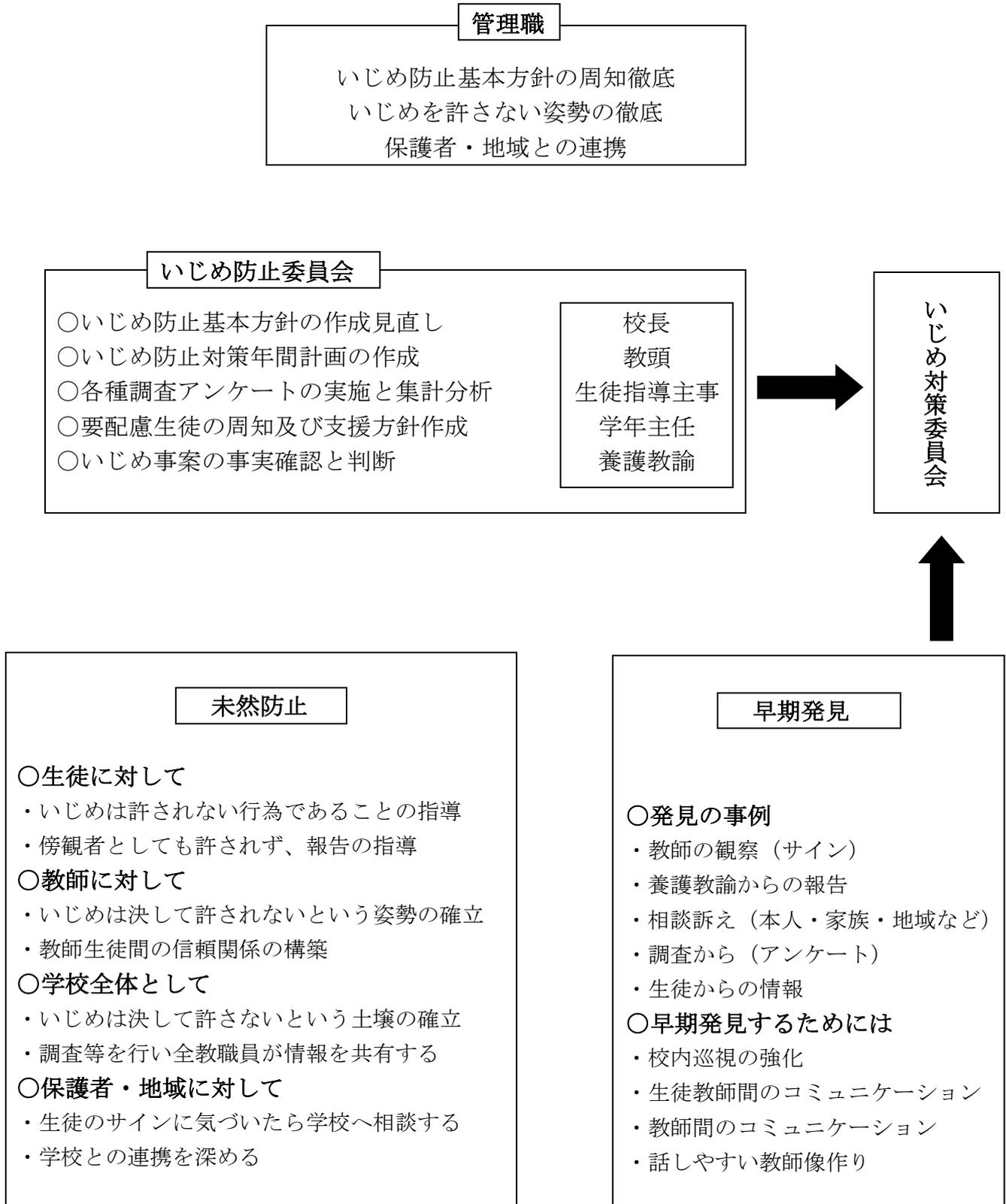


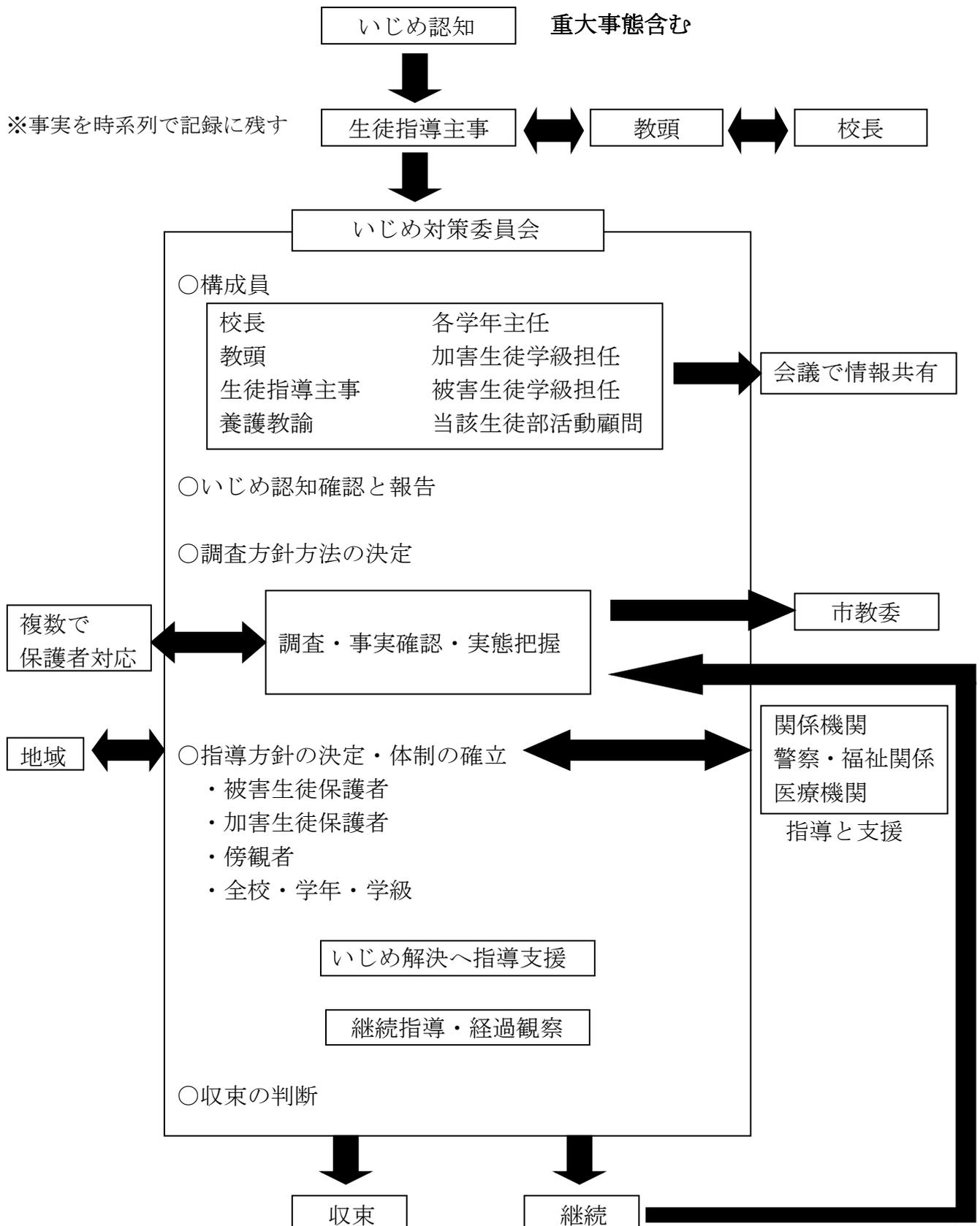
別紙1 いじめ防止委員会の設置

日常の指導体制（未然防止・早期発見）



別紙2 いじめ対策委員会の設置

緊急時の組織的取り組み体制



別紙3 いじめられている生徒・いじめを行っている生徒のサイン

1 いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場 面	サ イ ン
登校時 朝の短学活	<ul style="list-style-type: none">・遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。・教員と視線が合わず、うつむいている。・体調不良を訴える。・提出物を忘れて、期限に遅れたりする。・担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中	<ul style="list-style-type: none">・保健室・トイレに行くようになる。・教材等の忘れ物が目立つ。・机周りが散乱している。・決められた座席と異なる席に着いている。・教科書・ノートに汚れがある。・突然個人名が出される。
休み時間等	<ul style="list-style-type: none">・教室以外の場所にいることが多い。・ふざけ合っているが表情がさえない。・衣服が汚れていたりしている。・一人だけで清掃している。
放課後等	<ul style="list-style-type: none">・慌てて下校する。または、用事もないのに学校に残っている。・持ち物がなくなったり、いたずらされたりする。・一人で部活動の準備、片づけをしている。

2 いじめている生徒のサイン

日頃から積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、以下のような状況がないか確認する。

- ・教室等で仲間同士集まり、ひそひそ話をしている。
- ・ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている。
- ・教員が近づくと、不自然に分散したりする。
- ・自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる。
- ・真面目な生徒を冷かしたり、仲間だけにわかるサインや隠語を使ったりする。

別紙4 教室・家庭でのサイン

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教員はが室にいる時間を増やし、休み時間に廊下を通る際に注意を払うなど、以下のようなサインを見逃さないようにする。

- ・嫌なあだ名が聞こえる。
- ・特定の生徒の近くの席に座ることを嫌がる。
- ・何か起こると特定の生徒の名前が出る。
- ・筆記用具の貸し借りが多い。
- ・壁等にいたずら、落書きがある。
- ・机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

- ・学校や友人のことを話題にしなくなる。話題にすると嫌がる。
- ・学校や友人、学級の不平・不満を口にするが多くなる。
- ・朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。
- ・電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。
- ・不審な電話やメールがあったりする。
- ・こそこそと電話やメールのやり取りをしたり、電話におびえたりする。
- ・遊ぶ友達が急に変わる。
- ・部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
- ・理由が明確でない衣服の汚れや怪我がある。
- ・体調不良・食欲不振・不眠を訴える。
- ・成績が下がる。
- ・持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。
- ・家庭の品物、金銭がなくなる。
- ・多額の金銭を欲しがる。